

南地区の拠点として移転・新装オープン

## 充実した「金森図書館」

蔵書数約7万冊  
各コーナーも魅力



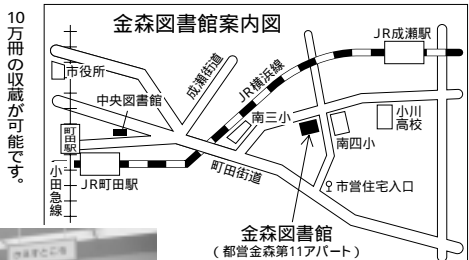
夏休みは子どもでいっぱい。



金森図書館正面玄関

南地区の生涯学習を支える拠点として7月4日移転オープンした金森図書館。世代を超え、子どもからお年寄りまで多くの方に利用されています。今号では、施設の概要等についてお知らせします。どうぞお気軽にご利用下さい。

金森図書館は、都営金森第11アパートの一角(金森10-21番地)にあり、鉄筋コンクリート造2階建、延べ床面積約1500平方メートルで、旧金森図書館の約5倍の広さを持っています。蔵書数は現在約7万冊、将来、最大



交通  
①町田バスセンター9番線(丸井町田前)またはバスターミナル10、11番線の「つくし野」「すすかけ台」「鶴間」南中学校經由成瀬駅、行きバスで「市営住宅入口」下車、徒歩10分②JR横浜線成瀬駅から徒歩10分

新たな可能性と人とのふれあいを求めて

### 中学生生徒が職場体験

約400名の生徒と60事業者が参加

「お店のレシヤ品出しをまかされ、信頼されているんだな」と思うと責任を感じ、緊張してしまいました。でもとても楽しいです。」

8月28日鶴川の薬局「愛誠堂」で職場体験学習をする眞光寺中学校2年生の清水さやかさんと長根綾乃さんは話します。買った物を済ませたお客さんからは「とてもかわいらしいね」といった声が掛けられるなど評判も上々。

また、店主の頓首要さんは「身内のように思って教えています。特にお客様への丁寧で分かりやすい対応は、教える自分も初心にかえったつもりで勉強させてもらっています」と話します。

町田市立中学校PTA連合会(池田泉会長)は、成長期の子どものため職場体験を通して人とふれあひ、積極的な生き方を身につけてほしいと、この夏、文部省の全国子ども生涯学習支援事業の一環として、市内の中学2年生を対象に「サマー・インターン・アドベンチャー」を企画。参加を呼び掛けたところ予想を上回る400名近くの応募があり、当初25か所予定していた受け入れ先を60か所に増やし対応。業種も生花店、喫茶店、郵便局、銭湯、電気店、薬局、酒店、牧場、保育園など多彩なものとなり



「ありがとうございました。」の言葉も自然に出ます。

### 図書館ご利用案内

#### 開館時間

火・金曜日 午前10時～午後6時  
水・木・土・日・祝日 午前10時～午後5時

#### 休館日

毎週月曜日・毎月第2木曜日(祝日の場合は開館、翌日が休館)

#### 5月4日

年末年始(12月28日～1月4日)館内整理期間  
借りるには

借りられるのは、町田市・相模原市にお住まいの方、及び町田市内に通学・通勤されている方です。初めて借りる方には利用券(市立図書館6館、移動図書館車共通)をお作りします。借りたい図書等と利用券をカウンターまでお持ち下さい。

(本と雑誌あわせて一人10冊2週間、新刊雑誌は一人1冊1週間まで借りることができます)

#### 返すには

返す図書等を返却カウンターまでお持ち下さい(利用券不要)  
(閉館中は返却ポストをご利用下さい。午前7時から開館までと、閉館から午後10時まで利用可)

#### 探している本がない場合は

カウンターの係員にお気軽にお尋ね下さい。金森図書館にないときはリクエストできますので、用紙に記入してカウンターの係員までお持ち下さい(市内在住の方のみ)。お取り寄せてはハガキでご連絡します。

10万冊の収蔵が可能です。施設は、1階にノンフィクションをはじめ文学、新聞雑誌、児童などのコーナーや対面朗読室、2階には事務室、書庫、喫茶コーナーのほかには50人収容できる「おはなしのへや」などがあります。「おはなしのへや」では、月2回お話を開催しています。

お問い合わせは、金森図書館 ☎710-1717へ。



利用カウンター(上)と「ねころびコーナー」(下) おはなしのへや(右)